

# 公共交通網整備事業

[446]

## 事業の位置づけ

一般会計

政策	03	快適な生活を支えるまちづくり	事務事業コード	32-0101	実施計画	
施策	02	快適に移動できる交通基盤の整備	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	01	公共交通による移動手段の確保	担当	都市整備部 都市計画課		

## 事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (04年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	<p>公共交通利用者(市民)、バス事業者、鉄道事業者</p> <p>意図(対象をどのような状態にしたいのか)</p> <p>・多くの市民が市営バスを利用している。 ・既存の交通網の維持が図られている。</p>	<p>【都市計画マスタープラン掲載重点事業】</p> <p>既存の公共交通網の整備・拡充を図る。利用者アンケートの実施や地域公共交通会議の開催などにより、利用しやすい公共交通を目指す。</p> <p>&lt;取組み概要&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市営バス：平成16年12月試験運行開始。平成20年4月より条例施行。平成28年4月運行内容変更。</li> <li>既存の交通網維持のため、バス及び鉄道事業者等に各種の要請を行う。             <ul style="list-style-type: none"> <li>バス事業者からの撤退及び公的補助の申し出への対応</li> <li>必要に応じて、鉄道事業者に要請</li> </ul> </li> </ul>

## 活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	02年度実績	03年度実績	04年度当初	04年度実績	
活動指標	A 地域公共交通会議の開催回数	回	2	1	3	4	
	B モニタリング結果「B」の割合	%	0	7.1	0	0	
成果指標	C 市営バスの利用者数	人	193,534	202,454	200,000	217,943	
	D 公共交通運行本数(民間事業者)	本	492	464	492	464	
事業費 計			58,477	68,597	88,552	89,050	
財源内訳		ア 国			3,000	3,000	
		イ 県					
		ウ 地方債				26,100	23,200
		エ その他		3,140	1,248	1,308	1,277
		オ 一般		55,337	67,349	58,144	61,573

## R04年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 一部遅延あり</p> <p>【成果指標の状況】 維持・横ばい</p> <p>【成果向上余地】 余地が小さい・なし</p>	<p>(状況)市営バスの利用者数は昨年度実績に比べ7.7%向上したが、公共交通運行本数(民間事業者)は昨年度実績と同じ運行本数となった。</p> <p>(原因)コロナ禍における生活様式が定着してきたことに伴い、市営バスの利用者数は対前年比で増加し、公共交通運行本数(民間事業者)は減少せず、昨年度実績と同じ運行本数となっている。</p>
--------	---	--

## R04年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R04年度実施取組方針	本部方向性	拡大
	<p>「(仮称)都市交通計画」の策定事務を進めます。 適切にバス車両の更新を実施します。 指定管理者の選定を行います。</p>		
	R04年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
<p>令和5年度末の公表に向け、計画策定の委託業者の選定、各種ニーズ調査、基本方針案の作成などの策定事務を進めた。 適切にバス車両の更新を実施した。 指定管理者の選定を行い、豊栄交通株式会社を指定管理者に指定した。</p>			

# 自転車等駐車場維持管理事業

[447]

## 事業の位置づけ

一般会計

政策	03	快適な生活を支えるまちづくり	事務事業コード	32-0201	実施計画	
施策	02	快適に移動できる交通基盤の整備	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	02	駅・駅周辺施設の整備	担当	市民生活部 市民活動課		

## 事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (04年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	市民 自転車等駐車場	手段(事務事業の内容、やり方、手順)	市内4駅及びバス停周辺に整備された自転車等駐車場(28箇所) ・整理員13人を1日2時間配置 ・自転車等駐車場内の草刈を委託 ・長期間放置してある自転車を撤去する ・撤去した自転車の保管に関しては、告示後6ヶ月管理・保管する。その後、リユースや再資源化を図る。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)			
	駅周辺における自転車等駐車場の整備及び整理員を配置することにより、自転車の路上放置がなくなっている。			

## 活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	02年度実績	03年度実績	04年度当初	04年度実績	
活動指標	A 自転車等駐車場利用台数	台/日	3,011	2,817	3,100	2,867	
	B 市が撤去する自転車台数	台	273	218	450	152	
成果指標	C 自転車駐輪場の維持管理・利用に関するトラブル件数	件	0	7	0	3	
	D						
事業費 計			6,582	6,898	6,719	6,325	
財源内訳		ア 国					
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他		112	103	110	187
		オ 一般		6,470	6,795	6,609	6,138

## R04年度実績の評価

成果実績評価	<b>【活動指標の状況】</b> 順調 <b>【成果指標の状況】</b> 向上(最高状態維持含む) <b>【成果向上余地】</b> 余地が中程度	(状況) 自転車駐車場利用台数、撤去台数ともに減少した。利用に関するメールは3件あった。 (原因) 新型コロナウイルスの影響が令和4年度も残っており、自転車駐車場利用者が減少したものと思われる。その結果、放置自転車撤去台数も減少し、トラブル件数も少なくなっている。
--------	---	---

## R04年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R04年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R04年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

# 三郷駅周辺まちづくり事業

[448]

## 事業の位置づけ

一般会計

政策	03	快適な生活を支えるまちづくり	事務事業コード	32-0202	実施計画
施策	02	快適に移動できる交通基盤の整備	評価区分	通常評価	総合戦略
基本事業	02	駅・駅周辺施設の整備	担当	都市整備部 都市整備課・三郷駅周辺整備推進室	

## 事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (04年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	駅利用者 駅周辺住民	【都市計画マスタープラン掲載重点事業】 当初計画(昭和38年2月1日都市計画決定)の位置等を再検討し、市の表玄関にふさわしい規模、施設水準の駅前広場を整備するとともに住民主体の地域にふさわしいまちづくりを進める。  <取組み経緯・概要> H21・22 三郷駅前広場の整備を目的としたワークショップを開催し意見を集約 H23・24 まちづくりに対する活動と駅前広場の実現に向けた検討を継続 H25 三郷駅周辺の地権者によるまちづくり協議会設立 H26 地域住民主体のまちづくり基本構想を作成 H27 三郷駅周辺まちづくり基本計画を作成 H28 実態調査、環境評価、交通量調査を実施 H29 現地測量、建物調査、地権者ヒアリング、用地取得事務を実施 H30 関係機関協議、概略施設計画案の作成、用地取得事務を実施 R1 三郷駅前地区市街地再開発準備組合設立 R2 市街地再開発事業等の都市計画素案作成 R3 市街地再開発事業等の都市計画決定 R4 市街地再開発事業の事業計画案作成
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
	アンケート結果や地域での検討結果を踏まえ、駅前広場や駅周辺の環境整備により住民が安心して生活ができています。	

## 活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	02年度実績	03年度実績	04年度当初	04年度実績
活動指標	A 三郷駅前広場整備率	%	0	0	0	0
	B					
成果指標	C バス停から三郷駅までの移動に要する時間	分	3	3	3	3
	D 三郷駅および駅周辺の整備や利便性について満足している市民の割合	%	-	69.9	-	-
事業費 計			8,250	14,782	195,600	184,951
財源内訳		ア 国			85,800	85,800
		イ 県			40,900	40,900
		ウ 地方債			36,800	36,800
		エ その他				
		オ 一般	千円	8,250	14,782	32,100

## R04年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調 【成果指標の状況】 維持・横ばい 【成果向上余地】 余地が大きい	(状況) 駅前広場等の整備が事業化されていないため指標Cの変化はない。また、指標Dについては、指標となるアンケートが未実施であったため計算不可。 (原因) 駅前広場の整備に向けて、令和3年度に都市計画決定し、概ね順調に進んでいるが、駅前広場の整備に至っていない。指標Dについては、まちづくりアンケート未実施のため実績値未取得。前年度は目標値には達していないもの、令和元年度からは微増しており、市民の期待値が反映されたものと推察する。
--------	--	---

## R04年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R04年度実施取組方針	本部方向性	拡大
	組合設立に向け地権者の合意形成を図るとともに事業計画認可に向けて事務を進めます。東部地域の拠点施設を念頭にした施設計画の策定に着手します。		
	R04年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
	組合設立に向け地権者の合意形成を図るとともに事業計画認可に向けて事務を進めました。地域の拠点施設を念頭にした施設計画の策定に着手しました。		

# 印場駅バリアフリー化整備事業

[1337]

## 事業の位置づけ

一般会計

政策	03	快適な生活を支えるまちづくり	事務事業コード	32-0203	実施計画	
施策	02	快適に移動できる交通基盤の整備	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	02	駅・駅周辺施設の整備	担当	都市整備部 都市整備課・三郷駅周辺整備推進室		

## 事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (04年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	印場駅及び自由通路利用者、鉄道事業者	鉄道事業者と連携し、鉄道駅及び自由通路のバリアフリー化を目指す。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	<取組概要> ・R2 鉄道事業者との協議及び設計に係る検討 ・R3 鉄道事業者との協議及び設計 ・R4 鉄道事業者との協議及び整備工事
	印場駅及び自由通路がバリアフリー化されている。	

## 活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	02年度実績	03年度実績	04年度当初	04年度実績
活動指標	A 鉄道事業者との協議回数		3	5	5	5
	B					
成果指標	C 整備率(事業費ベース)(%)		0	0	56	48
	D					
事業費 計					199,200	177,676
財源内訳		ア 国	千円		30,000	26,630
		イ 県				
		ウ 地方債			27,000	27,000
		エ その他			20,000	20,000
		オ 一般			122,200	104,046

## R04年度実績の評価

成果実績評価	<b>【活動指標の状況】</b> 順調 <b>【成果指標の状況】</b> 維持・横ばい <b>【成果向上余地】</b> 余地が中程度	駅構内を名鉄、自由通路南側を市がバリアフリー化整備を実施した。
--------	---	---------------------------------

## R04年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R04年度実施取組方針	本部方向性	拡大
	南側エレベーターの設置工事を行います。		
	R04年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
自由通路南側のエレベーターの設置工事が完了した。			

# 幹線道路補修事業

[990]

## 事業の位置づけ

一般会計

政策	03	快適な生活を支えるまちづくり	事務事業コード	32-0304	実施計画
施策	02	快適に移動できる交通基盤の整備	評価区分	通常評価	総合戦略
基本事業	03	幹線道路整備の推進	担当	都市整備部 土木管理課	

## 事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (04年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	幹線道路 幹線道路利用者	H18 幹線道路補修計画策定 (対象路線:63本、道路延長:64.4km) 対象路線:1・2級市道及び1・2級市道を結ぶ比較的交通量の多い路線
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	H19~ 幹線道路補修工事の実施 H22 路面性状状況調査業務、交通量等により、幹線道路補修計画の見直し。 (対象路線:63本、道路延長:67.2km、車線延長:123.5km) H27 路面性状状況調査業務、交通量等により、幹線道路補修計画の見直し。 (対象路線:63本、道路延長:67.2km)
	道路の舗装面に亀裂やたわみ等がなく、 利用者が安心して安全に通行できるよう になっている	H28~ 幹線道路補修工事の実施 R 2 路面性状状況調査業務、交通量等により、幹線道路補修計画の見直し。 R 3~ 幹線道路補修工事の実施 ・道路パトロール等により、必要に応じて補修計画を変更する。 ・国交省と同様に5年毎に計画を見直す。

## 活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	02年度実績	03年度実績	04年度当初	04年度実績	
活動指標	A 舗装補修必要路線数	本	39	35	35	35	
	B 舗装補修必要延長	km	18.4	19.7	19.7	19.7	
	成果指標	C 舗装補修延長	m	337	275.0	750	529
		D 舗装補修率	%	30.4	1.4	5.1	4.1
事業費 計			17,925	14,987	15,000	25,661	
財源内訳		ア 国	8,318	7,447	7,500	11,331	
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他					
		オ 一般	9,607	7,540	7,500	14,330	

## R04年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	(状況)舗装補修延長は前年度実績と比べ92.4%向上しており、舗装補修率は前年度実績と比べ2.7p向上している。 (原因)R2年度末に策定した幹線道路補修計画に基づき、国庫補助金の交付状況に合わせ事業を実施しているためである。
	【成果指標の状況】 向上(最高状態維持含む) 【成果向上余地】 余地が中程度	

## R04年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R04年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R04年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

# 歩道バリアフリー推進事業

[432]

## 事業の位置づけ

一般会計

政策	03	快適な生活を支えるまちづくり	事務事業コード	32-0404	実施計画	
施策	02	快適に移動できる交通基盤の整備	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	04	生活道路の整備と維持管理	担当	都市整備部 都市整備課・三郷駅周辺整備推進室		

## 事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (04年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	歩道 歩道を通行する道路利用者	平成14年度 交差点部における歩道と車道の段差状況の調査 段差解消の必要な箇所を選定(395箇所) 整備方針(整備の手法)を策定 平成25年度 交差点部だけでなく、歩道全てを段差解消の対象とする 毎年度 歩道の段差を解消する工事を実施
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
歩道の段差を解消し、誰もが安心して安全に歩道を通行できるようになっている		

## 活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	02年度実績	03年度実績	04年度当初	04年度実績
活動指標	A 段差解消工事の実施箇所数	箇所	19	14	5	8
	B					
成果指標	C 段差解消を施工した累計箇所数	箇所	380	394	381	402
	D					
事業費 計			1,936	1,982	2,000	4,939
財源内訳		ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	1,936	1,982	2,000

## R04年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	(状況) 段差解消を施工した箇所数は昨年度実績と比べ6箇所減少している。 (原因) 比較的簡易に施工できる箇所が完了し、段差解消1箇所あたりの工事費が増加したため。
	【成果指標の状況】 向上(最高状態維持含む) 【成果向上余地】 余地が小さい・なし	

## R04年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R04年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R04年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

# 道路保険加入事業

## 事業の位置づけ

政策	03	快適な生活を支えるまちづくり	事務事業コード	32-0406	実施計画	
施策	02	快適に移動できる交通基盤の整備	評価区分	簡易評価	総合戦略	
基本事業	04	生活道路の整備と維持管理	担当	都市整備部 土木管理課		

## 事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (04年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)																			
	道路(橋梁含む)、道路利用者	<ul style="list-style-type: none"> <li>年間保険料の支払い(契約先: 全国市有物件災害共済会、幹事会社: 損保ジャパン)</li> <li>道路管理損害保険料</li> <li>事故の発生時の対応 現地確認、保険会社へ連絡、被害者との交渉、示談</li> <li>賠償金の支払い</li> <li>道路管理賠償金(過失割合は保険会社が判断)</li> <li>議会への報告</li> </ul>																			
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	<p>道路管理者の管理瑕疵による事故発生件数</p> <table border="0"> <tr> <td>H17: 1件</td> <td>H18: 3件</td> <td>H19: 2件</td> <td>H20: 0件</td> <td>H21: 0件</td> </tr> <tr> <td>H22: 1件</td> <td>H23: 0件</td> <td>H24: 0件</td> <td>H25: 2件</td> <td>H26: 1件</td> </tr> <tr> <td>H27: 2件</td> <td>H28: 3件</td> <td>H29: 0件</td> <td>H30: 0件</td> <td>R1: 1件</td> </tr> <tr> <td>R2: 2件</td> <td>R3: 2件</td> <td>R4: 3件</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	H17: 1件	H18: 3件	H19: 2件	H20: 0件	H21: 0件	H22: 1件	H23: 0件	H24: 0件	H25: 2件	H26: 1件	H27: 2件	H28: 3件	H29: 0件	H30: 0件	R1: 1件	R2: 2件	R3: 2件	R4: 3件	
H17: 1件	H18: 3件	H19: 2件	H20: 0件	H21: 0件																	
H22: 1件	H23: 0件	H24: 0件	H25: 2件	H26: 1件																	
H27: 2件	H28: 3件	H29: 0件	H30: 0件	R1: 1件																	
R2: 2件	R3: 2件	R4: 3件																			

## 活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	02年度実績	03年度実績	04年度当初	04年度実績	
活動指標	A 保険対象事故件数	件	2	2	0	3	
	B 示談締結率(保険対応率) (示談締結件数/保険対象事故件数)	%	100	100	100	66	
成果指標	C						
	D						
事業費 計			458	1,170	465	493	
財源内訳		ア 国					
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他					
		オ 一般	千円	458	1,170	465	493

## R04年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 一部遅延あり</p> <p>【成果指標の状況】 未設定</p> <p>【成果向上余地】 未設定</p>
--------	--

## R04年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R04年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R04年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

# 道水路用地借上事業

[396]

## 事業の位置づけ

一般会計

政策	03	快適な生活を支えるまちづくり	事務事業コード	32-0407	実施計画	
施策	02	快適に移動できる交通基盤の整備	評価区分	評価対象外	総合戦略	
基本事業	04	生活道路の整備と維持管理	担当	都市整備部 土木管理課		

## 事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (04年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	当該道路及び水路用地の所有者	道路及び水路用地の確保のため、私有地の一部を有償で借用する。 「私有財産借受料算定基準等」により算出した借上料を土地所有者に支出する。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
道水路用地を確保することにより、公共施設の利便を図る。		

## 活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	02年度実績	03年度実績	04年度当初	04年度実績	
活動指標	A						
	B						
	C						
	D						
成果指標・事業費	事業費 計			137	135	137	135
	財源内訳	ア 国	千円				
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他					
		オ 一般		137	135	137	135

## R04年度実績の評価

成果実績評価	<b>【活動指標の状況】</b> 未設定 <b>【成果指標の状況】</b> 未設定 <b>【成果向上余地】</b> 未設定	
--------	--	--

## R04年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R04年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R04年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-



# 生活道路改良事業

[399]

## 事業の位置づけ

一般会計

政策	03	快適な生活を支えるまちづくり	事務事業コード	32-0408	実施計画	
施策	02	快適に移動できる交通基盤の整備	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	04	生活道路の整備と維持管理	担当	都市整備部 都市整備課・三郷駅周辺整備推進室		

## 事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (04年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	市の管理する道路 道路利用者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民等からの苦情要望箇所及び市が改良を必要と考えた箇所の中から優先的に工事を実施する箇所を選定する。</li> <li>・現場を調査し、施工方法を検討する。</li> <li>・改良に高額な費用が必要となる場合は、別途予算要望するが、緊急性が高く、比較的小規模な費用で実施可能なものは、当該事業にて実施する。</li> <li>・工事を設計する。</li> <li>・用地交渉、補償交渉が必要な箇所は、所有者などと交渉する。</li> <li>・所有者など関係者の理解を得た後、工事を実施する。</li> <li>・未舗装の道路に対して、必要に応じ舗装を行う。</li> </ul>
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
	道路・排水施設などを改良し、道路の利便性を高め、利用者が安全に安心して通行できるようになっている	

## 活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	02年度実績	03年度実績	04年度当初	04年度実績
活動指標	A 道路の改良件数	件数	18	13	16	15
	B					
成果指標	C 道路の改良延長	m	412	329	510	350
	D 市道の舗装整備率	%	98.2	98.2	98.2	98.2
事業費 計			13,903	26,672	37,191	27,293
財源内訳		ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	13,903	26,672	37,191

## R04年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	(状況)道路の改良延長については、対前年度比で6.3%増加した。 (原因)他事業と工程調整を行い同時施工することで、施工単価が低下したため事業費に対する改良延長が大きくなった。
	【成果指標の状況】 向上(最高状態維持含む) 【成果向上余地】 余地が小さい・なし	

## R04年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R04年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R04年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

# 道路清掃事業

[400]

## 事業の位置づけ

一般会計

政策	03	快適な生活を支えるまちづくり	事務事業コード	32-0409	実施計画
施策	02	快適に移動できる交通基盤の整備	評価区分	通常評価	総合戦略
基本事業	04	生活道路の整備と維持管理	担当	都市整備部 土木管理課	

## 事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (04年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	道路利用者・市が管理する道路	<ul style="list-style-type: none"> <li>・矢田川堤防道路などの路肩等の草刈委託(道路環境整備委託料)、直営</li> <li>・市民要望等により随時道路の草刈りなど直営(草等の処分は公共ゴミ処理手数料)</li> <li>・市民等が清掃した側溝の汚泥の回収と処理直営、委託(側溝汚泥処理委託料)</li> <li>・道路路面の清掃委託(道路清掃等委託料)、直営</li> <li>・ポケットパーク(12箇所)やシンボルロードの清掃を定期的に行う直営、委託(土木管理用地清掃等委託料)</li> <li>・公共施設アダプトプログラムR4年度末現在18団体と合意</li> <li>活動支援、活動状況把握、看板設置、花壇づくり支援</li> <li>ボランティア保険は市民活動課で対応</li> </ul> 平成23年度より31-0208土木管理課管理用地管理事業を統合
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
道路が安全に維持管理されることにより、道路利用者が快適に通行している		

## 活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	02年度実績	03年度実績	04年度当初	04年度実績
活動指標	A 除草清掃した道路の延長距離(委託除草延長+委託清掃延長)	km	48	48	58	42
	B 回収した汚泥の容量	m3	97	83.6	100	110
成果指標	C 道路清掃に関する苦情の対応率	%	100	100	100	100
	D					
事業費 計			15,102	16,942	17,422	17,644
財源内訳		ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	15,102	16,942	17,422

## R04年度実績の評価

成果実績評価	<b>【活動指標の状況】</b> 順調 <b>【成果指標の状況】</b> 維持・横ばい <b>【成果向上余地】</b> 余地が小さい・なし	(状況)寄せられた意見や苦情等には対応できている。 (原因)連絡者からの多様な要望内容の把握、対応等の検討を経て、適宜実施できている。
--------	--	--

## R04年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R04年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R04年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

# 駅通路等管理事業

[401]

## 事業の位置づけ

一般会計

政策	03	快適な生活を支えるまちづくり	事務事業コード	32-0410	実施計画	
施策	02	快適に移動できる交通基盤の整備	評価区分	簡易評価	総合戦略	
基本事業	04	生活道路の整備と維持管理	担当	都市整備部 土木管理課		

## 事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (04年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	駅の利用者 市が管理する通路	<ul style="list-style-type: none"> <li>尾張旭駅南北線エスカレーター及びエレベーターの管理委託(尾張旭駅南北線エスカレーター保守点検委託料)</li> <li>委託(尾張旭駅南北線エレベーター保守点検委託料)</li> <li>借上(エレベーターカメラ借上料)</li> <li>尾張旭駅前広場、南北線、トイレの清掃管理委託(尾張旭駅前広場・南北線清掃管理委託料)</li> <li>印場駅前広場、南北通路、トイレの清掃管理委託(印場駅前広場・南北通路清掃管理委託料)</li> <li>旭前駅前広場、トイレの清掃管理委託(旭前駅前広場清掃管理委託料)</li> <li>尾張旭、印場駅の南北通路と尾張旭、旭前、印場駅トイレの光熱水費の支払い</li> <li>光熱水費</li> <li>尾張旭駅、印場駅の公衆電話等の電気料の徴収</li> <li>尾張旭駅・印場駅電気料負担収入</li> <li>印場駅南北通路壁面広告2枚の広告料の徴収</li> <li>広告収入</li> </ul>
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	

通路:安全・快適に通行できている。  
広場:人・車の流れを円滑かつ快適に移動できている。また公共空間として市民に親しまれている。

## 活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	02年度実績	03年度実績	04年度当初	04年度実績	
活動指標	A 維持管理(清掃)日数	日	363	363	363	363	
	B 駅通路に関する苦情件数	件	5	3	0	3	
成果指標	C						
	D						
事業費 計			22,394	10,687	10,984	10,886	
財源内訳		ア 国					
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他		40	26	30	36
		オ 一般		22,354	10,661	10,954	10,850

## R04年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】	
	順調	
	【成果指標の状況】	
	未設定	
	【成果向上余地】	
	未設定	

## R04年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R04年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R04年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

# 平子線アンダーパス維持管理事業

[403]

## 事業の位置づけ

一般会計

政策	03	快適な生活を支えるまちづくり	事務事業コード	32-0411	実施計画	
施策	02	快適に移動できる交通基盤の整備	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	04	生活道路の整備と維持管理	担当	都市整備部 土木管理課		

## 事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (04年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	・アンダーパスを利用する車両台数	・平子線アンダーパス保守点検委託(長期契約、平子線アンダーパス保守点検等委託料) 排水ポンプ点検(3基):年2回 ポンプ制御盤、非常用発電機、冠水表示機点検、ポンプ井内清掃:年1回 設備の遠隔監視:24hr(異常発生時にファックス、電話で市、担当者に連絡あり) ・平子線アンダーパス自家用電気工作物保守管理委託(平子線アンダーパス保守点検等委託料) 受電設備・非常用発電機点検:隔月1回 ・遠隔監視システム通信料の支払い 役務費(電信電話料) H14年設置。H16年6月に旭前城前(区)から管理移管。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
・降雨時において道路利用者が安全で円滑に通行できるようにする。		

## 活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	02年度実績	03年度実績	04年度当初	04年度実績	
活動指標	A 保守点検業務の種類(ポンプ室、冠水表示機、自家発電機)	設備	3	3	3	3	
	B 修繕等の件数	件数	0	1	1	0	
	成果指標	C 降雨時における施設の不具合(誤作動等)が起きた件数	件数	0	0	0	0
		D					
事業費 計			1,319	3,861	2,672	2,565	
財源内訳		ア 国					
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他					
		オ 一般	千円	1,319	3,861	2,672	2,565

## R04年度実績の評価

成果実績評価	<b>【活動指標の状況】</b> 順調 <b>【成果指標の状況】</b> 維持・横ばい <b>【成果向上余地】</b> 余地が小さい・なし	(状況)降雨時に不具合(誤作動等)の発生はない。 (原因)日頃の保守点検や定期的な修繕により不具合が発生していないが、そもそも実際に不具合が生じることがあってはならない施設であり、引き続き維持管理を進めていく。
--------	--	--

## R04年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R04年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R04年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

# 生活道路維持管理事業

[404]

## 事業の位置づけ

一般会計

政策	03	快適な生活を支えるまちづくり	事務事業コード	32-0412	実施計画	
施策	02	快適に移動できる交通基盤の整備	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	04	生活道路の整備と維持管理	担当	都市整備部 土木管理課		

## 事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (04年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	市の管理する道路、橋梁	市民からの通報及び日常パトロールにより発見された生活道路、橋梁の破損箇所等に対し、適切な維持管理を行う。 ・現場調査の結果、補修方法を検討する。 ・補修が必要な舗装や側溝などの状況に応じ、補修する優先順位をつける。 ・材料を購入し、市作業員により施工する。 ・工事を発注し、施工する。 ・市道の街路樹の維持管理を行う。 ・高木・中木・低木の剪定・補植及び柵内の除草
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
道路、橋梁利用者が安心して通行できるように維持管理を行い、安全性・利便性が確保できている		

## 活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	02年度実績	03年度実績	04年度当初	04年度実績
活動指標	A 維持修繕を実施した箇所数	箇所	445	331	380	368
	B 道路補修の施工件数	件	44	37	20	21
成果指標	C 道路管理に関する苦情要望対応率	%	100	100	100	100
	D					
事業費 計			96,254	104,850	109,373	108,686
財源内訳		ア 国				
		イ 県	4,545	5,505	4,480	5,040
		ウ 地方債			16,600	13,000
		エ その他				
		オ 一般	91,709	99,345	88,293	90,646

## R04年度実績の評価

成果実績評価	<b>【活動指標の状況】</b> 順調 <b>【成果指標の状況】</b> 向上(最高状態維持含む) <b>【成果向上余地】</b> なし	(状況) 道路管理に関する苦情要望対応率は100%を保持している。 (原因) 小規模道路補修工事や道路維持管理委託などにより適切に対応したためである。
--------	---	--

## R04年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R04年度実施取組方針	本部方向性	維持
	旭台東栄1号線の街路樹の更新工事を行います。		
実施取組方針実績評価	R04年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
	旭台東栄1号線の街路樹の更新工事を行いました。		

# 道路橋梁管理庶務事務

[416]

## 事業の位置づけ

一般会計

政策	03	快適な生活を支えるまちづくり	事務事業コード	32-0413	実施計画	
施策	02	快適に移動できる交通基盤の整備	評価区分	評価対象外	総合戦略	
基本事業	04	生活道路の整備と維持管理	担当	都市整備部 土木管理課		

## 事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (04年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	道路橋梁の維持管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>道路橋梁の維持管理に必要な庶務事務を円滑に行う。</li> <li>現場復旧などに必要な消耗品の購入に伴う支払事務を行う。</li> </ul>
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
道路橋梁が不具合なく利用可能な状態を維持する。		

## 活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	02年度実績	03年度実績	04年度当初	04年度実績	
活動指標	A						
	B						
	C						
	D						
成果指標・事業費	事業費 計			348	319	320	283
	財源内訳	ア 国	千円				
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他					
		オ 一般		348	319	320	283

## R04年度実績の評価

成果実績評価	<b>【活動指標の状況】</b> 未設定 <b>【成果指標の状況】</b> 未設定 <b>【成果向上余地】</b> 未設定	
--------	--	--

## R04年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R04年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R04年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

# 横断歩道橋補修事業

[993]

## 事業の位置づけ

一般会計

政策	03	快適な生活を支えるまちづくり	事務事業コード	32-0414	実施計画	
施策	02	快適に移動できる交通基盤の整備	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	04	生活道路の整備と維持管理	担当	都市整備部 土木管理課		

## 事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (04年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	<p>市が管理している横断歩道橋 横断歩道通行者</p> <p>意図(対象をどのような状態にしたいのか)</p> <p>利用者が安心して通行できるよう点検・補修を行い、横断歩道橋が適切に維持管理されている。</p>	<p>・横断歩道橋の保全を図るため、点検を実施する。 ・補修工事の設計を行い、補修工事を実施する。 ・塗装の塗替え周期は15年とし、塗装後15年以上経過したものを補修(塗装塗替え)対象とする。</p> <p>H25: 東栄北歩道橋 H26: 横断歩道橋定期点検委託 H27: はなの木歩道橋 R 1: 横断歩道橋定期点検委託 R 5: 甚田歩道橋 R 7: 川南歩道橋</p>

## 活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	02年度実績	03年度実績	04年度当初	04年度実績
活動指標	A 補修した横断歩道橋の数	橋	0	0	0	0
	B					
成果指標	C 補修が必要な横断歩道橋の残数	橋	0	0	0	2
	D					
事業費 計						
財源内訳		ア 国	千円			
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般				

## R04年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 順調</p> <p>【成果指標の状況】 向上(最高状態維持含む)</p> <p>【成果向上余地】 なし</p>	<p>(状況) 補修が必要な横断歩道橋の残数は0橋を保持している。 (原因) 定期点検を5年に一度行い、計画的に補修を行ったため。</p>
--------	--	---

## R04年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R04年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R04年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

# 街区基準点管理事業

[1121]

## 事業の位置づけ

一般会計

政策	03	快適な生活を支えるまちづくり	事務事業コード	32-0415	実施計画	
施策	02	快適に移動できる交通基盤の整備	評価区分	簡易評価	総合戦略	
基本事業	04	生活道路の整備と維持管理	担当	都市整備部 土木管理課		

## 事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (04年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	DID地区内の街区基準点(人口集中地区のうち、区画整理等による公図が整備された区域を除く)	尾張旭市街区基準点管理保全要綱に基づき、街区基準点の閲覧、使用承認及び道路の工事に伴う街区基準点の保全に必要な手続き等の事務を実施。 時間経過とともに保全対象の増加が見込まれるが、工事等により機能に支障をきたさないよう、状況を把握し適正に管理する。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	【街区三角点 53点・街区多角点 140点】 ・窓口での問い合わせの対応(必要に応じ、点の記・成果表の発行:1点10円) ・基準点使用承認申請書、基準点使用報告書等の各種報告書の受理、審査 ・報告により紛失や機能に支障をきたした基準点(三角点・多角点)の復旧
	街区基準点が適切に管理され、常に利用できる状態になっている。	

## 活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	02年度実績	03年度実績	04年度当初	04年度実績	
活動指標	A 街区基準点の復元及び点検件数	件数	2	0	1	0	
	B 適切な管理状態の街区基準点数の割合	%	100	100	100	100	
成果指標	C						
	D						
事業費 計			94		100		
財源内訳		ア 国					
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他					
		オ 一般	千円	94		100	

## R04年度実績の評価

成果実績評価	<b>【活動指標の状況】</b> 順調 <b>【成果指標の状況】</b> 未設定 <b>【成果向上余地】</b> 未設定
--------	---

## R04年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R04年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R04年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-



# 橋梁長寿命化修繕事業

[1157]

## 事業の位置づけ

一般会計

政策	03	快適な生活を支えるまちづくり	事務事業コード	32-0416	実施計画
施策	02	快適に移動できる交通基盤の整備	評価区分	通常評価	総合戦略
基本事業	04	生活道路の整備と維持管理	担当	都市整備部 土木管理課	

## 事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (04年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	管理橋梁 橋梁利用者(通行者)	H21 橋梁台帳作成・全橋梁の一次スクリーニング H22 橋梁詳細点検(1回目) H23 橋梁長寿命化修繕計画策定(第1期) H24 橋梁補修工事(稲葉橋) H26 橋梁補修工事(宮下橋) 管理橋梁数の見直し(85 75橋) H27 橋梁定期点検・橋梁補修工事(東名印場橋) H28 橋梁詳細設計委託(宮下橋) H29 橋梁補修工事(宮下橋)
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	H29・30橋梁詳細点検委託(尾張旭駅南北連絡橋) H30 橋梁詳細設計委託(稲葉橋)
	橋梁利用者が安心して通行できるよう計画的な点検・修繕を行い、安全性・信頼性が確保できている	R 1 橋梁補修工事(稲葉橋) R 2 橋梁定期点検・橋梁長寿命化修繕計画の策定 R 4 橋梁詳細点検委託(尾張旭駅南北連絡橋) R 5 橋梁詳細点検委託(尾張旭駅南北連絡橋) R 6 橋梁予備設計(三郷橋・三郷橋歩道橋) R 7 橋梁詳細設計委託(三郷橋・三郷橋歩道橋) 橋梁定期点検・橋梁長寿命化修繕計画の策定 R 8 橋梁補修工事(三郷橋・三郷橋歩道橋)

## 活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	02年度実績	03年度実績	04年度当初	04年度実績
活動指標	A 点検した橋梁数	橋	5	0	5	5
	B					
成果指標	C 補修した橋梁の数	橋	0	0	6	2
	D					
事業費 計			29,495		650	638
財源内訳		ア 国	15,950			
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	13,545		650	638

## R04年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 順調</p> <p>【成果指標の状況】 向上(最高状態維持含む)</p> <p>【成果向上余地】 余地が中程度</p>	<p>(状況) 補修が必要な橋梁の残数は0橋を保持している。</p> <p>(原因) 定期点検を5年に一度行い、緊急的な補修が必要である橋梁が無かったため。しかしながら、橋梁長寿命化修繕計画に基づき予防保全型の維持管理を進める必要がある。</p>
--------	--	---

## R04年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R04年度実施取組方針	本部方向性	維持
	市職員による小規模橋梁の定期点検の拡大を検討します。		
	R04年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
市職員による小規模橋梁の定期点検についての知識と技能向上のため、道路構造物管理・実務者研修に参加した。			

# 狭あい道路拡幅整備事業

[1254]

## 事業の位置づけ

一般会計

政策	03	快適な生活を支えるまちづくり	事務事業コード	32-0417	実施計画	
施策	02	快適に移動できる交通基盤の整備	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	04	生活道路の整備と維持管理	担当	都市整備部 都市整備課・三郷駅周辺整備推進室		

## 事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (04年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	狭あい道路、狭あい道路に隣接する敷地で建築等を行う建築主等	市が管理する幅員4m未満の道路について、建築等に併い道路後退用地の取得を促し、拡幅整備を行い、安全で住みよいまちづくりを進めていく。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	(事業内容) ・寄附又は土地使用承諾等により取得 ・境界確定測量(市街化区域で寄附の場合に限る) ・後退用地の分筆、所有権移転登記 ・後退用地の整備 ・角地・隅切り用地の奨励金を交付
	対象道路幅員4m以上が確保されている。	

## 活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	02年度実績	03年度実績	04年度当初	04年度実績
活動指標	A 狭あい道路解消延長の累計(km)	km	1.2	1.25	1.31	1.36
	B 用地取得件数	件	3	15	40	12
成果指標	C 狭あい道路解消率	%	2.4	2.5	2.6	2.7
	D					
事業費 計			3,904	4,317	10,000	14,278
財源内訳		ア 国	1,916	2,150	4,927	5,427
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	1,988	2,167	5,073	8,851

## R04年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	(状況)「狭あい道路解消率」はR3実績と比較し、0.2ポイント増加している。 (原因)境界確認や開発申請時等、積極的に事業の周知を行っていること等が原因と思われる。 (成果向上余地)令和3年度より、「狭あい道路の拡幅整備事業に関する要綱」を改正し、市街化区域内でセットバック用地を市へ寄附する場合には、市負担で対象地の境界確定測量を行うことができることとしていることに加え、令和5年度からは土地境界確認申請が行われた土地の所有者へ積極的に交渉を行う方針としているため、成果向上余地は大きいと思われる。
	【成果指標の状況】 維持・横ばい 【成果向上余地】 余地が大きい	

## R04年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R04年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R04年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

# 道路環境整備事業

[1400]

## 事業の位置づけ

一般会計

政策	03	快適な生活を支えるまちづくり	事務事業コード	32-0418	実施計画	
施策	02	快適に移動できる交通基盤の整備	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	04	生活道路の整備と維持管理	担当	都市整備部 都市整備課・三郷駅周辺整備推進室		

## 事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (04年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>市の管理する道路</li> <li>道路利用者</li> </ul>	R 4 道路環境整備基本計画の策定 道路環境整備工事(市道南原山下井1号線)の実施 R 5 道路環境整備基本計画に基づく整備区域や路線等の優先順位・抽出等の検討 R 6 ~ 道路環境整備工事の実施
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>道路環境の質が向上している。</li> <li>安全・安心で快適に移動できる。</li> <li>外に出掛けたくなる道ができています。</li> </ul>		

## 活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	02年度実績	03年度実績	04年度当初	04年度実績	
活動指標	A 工事施工延長	m			500	709	
	B						
成果指標	C 円滑に市内を移動することができると思う市民の割合	%			57.9	-	
	D						
事業費 計		千円			35,000	24,986	
財源内訳			ア 国				
			イ 県				
			ウ 地方債				
			エ その他			20,000	
		オ 一般			15,000	24,986	

## R04年度実績の評価

成果実績評価	<b>【活動指標の状況】</b> 順調 <b>【成果指標の状況】</b> 未設定 <b>【成果向上余地】</b> 未設定	R 4 はまちづくりアンケート未実施のため、数値未取得。
--------	---	------------------------------

## R04年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R04年度実施取組方針	本部方向性	未設定
	R04年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

事業の位置づけ

一般会計

政策	03	快適な生活を支えるまちづくり	事務事業コード	32-0901	実施計画	
施策	02	快適に移動できる交通基盤の整備	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	09	(施策の総合推進)	担当	都市整備部 都市計画課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (04年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	市が保有する街路用地等 愛知県街路事業促進協議会 東海環状地域整備推進協議会	<ul style="list-style-type: none"> <li>街路用地等で定期的に草刈等を行う。</li> <li>街路用地等内の杭柵等の新設、維持補修工事を行う。</li> <li>街路用地等の管理について要望・苦情があった場合は速やかに対応する。</li> </ul> 各協議会に会費等を支払 ・8月 愛知県街路事業促進協議会会費支払 ・2月 東海環状地域整備推進協議会分担金支払  各協議会からの情報提供及び情報交換の実施 ・各種会議及び研修会への出席、刊行物の収受
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	

街路用地等が適正に維持管理されている。  
協議会への負担金を支出することにより、本市の発展に寄与する情報提供を受けている。

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	02年度実績	03年度実績	04年度当初	04年度実績
活動指標	A 草刈、工事施工数	件	35	20	20	19
	B 要望・苦情対応件数	件	5	2	6	3
成果指標	C 要望・苦情解決率	%	100	100	100	100
	D					
事業費 計			3,906	3,112	1,230	1,133
財源内訳		ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	3,906	3,112	1,230

R04年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 非常に順調</p> <p>【成果指標の状況】 向上(最高状態維持含む)</p> <p>【成果向上余地】 なし</p>	付近の住民より求められる雑草の草刈り、樹木の剪定、安全面での管理が問題なく行われている。
--------	---	--

R04年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R04年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R04年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-